

文化心理学の可能性

時間・空間と共にある個別の生を捉えるために

第1部
13:00~

講演

第1部 司会：安田 裕子（京都大学）

FACING THE FUTURE - MAKING THE PAST : THE PERMANENT UNCERTAINTY OF LIVING

（未来に向かい—過去をつくる 永続する不確定性ととともに生きる）

Jaan Valsiner (Clark University)

障害児の生きる場と人格形成の理論

高橋 登（大阪教育大学）

第2部
15:10~

シンポジウム

第2部 司会：田垣 正晋（大阪府立大学）

パネリスト 阪神・淡路大震災を記憶した〈場所〉 矢守 克也（京都大学防災研究所巨大災害研究センター）

「大切な音楽」を媒介とした少年受刑者の語りの変容と意味生成の過程

松本 佳久子（奈良市社会福祉協議会 音楽療法推進室）

共同主観的制約としての〈事実〉が立ち上がるとき：

目撃証言の共同想起と超越的媒介項

山本 登志哉（早稲田大学）

ライフ・エスノグラフィの可能性 —文化心理学と厚生心理学の接点へ

サトウタツヤ（立命館大学）

コメンテータ やまだ ようこ（京都大学） 南 博文（九州大学） Jaan Valsiner (Clark University)

本企画は日本語で行われます。Jaan Valsiner 氏の講演・コメントは逐次通訳の実施を予定しております。

2008年9月23日(火・祝)

13:00~18:10(開場12:30)

立命館大学
衣笠キャンパス

創思館1F カンファレンスルーム

申込不要
参加費無料

立命館大学人間科学研究所

(人文社会リサーチオフィス内) 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245 E-Mail:ningen@st.ritsume.ac.jp

お問合せ先

主催：科学研究費補助金（萌芽研究）【代表：佐藤達哉】

立命館大学人間科学研究所

立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点

本企画は、科学研究費補助金（萌芽研究）「発達の多様性を描くための複線径路・等至性モデルの開発」【代表：佐藤達哉】および文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築—対人援助のための人間環境研究」研究法開発チーム【代表：佐藤達哉】の研究成果として広く社会に発信するものです。



駐車スペースがございませんので、公共交通機関をご利用下さい。